

# 令和2年度【第1回】島根県県民いきいき活動促進委員会 【議事要旨】

日時:令和2年7月17日(金)

13:30~15:00

場所:松江合同庁舎603会議室

## 出席状況

○委員(出席 17名)

金野委員長、大森副委員長、小倉副委員長、石橋委員、香取委員、岸委員、猿渡委員、須川委員  
妹尾委員、田村委員、中野委員、野々村委員、橋本委員、原田委員、原野委員、森山委員、若菜委員

○事務局(8名)

竹内部長、柳樂課長、曾田室長、山本企画幹、上野主任、岩成主事、宮前会計年度任用職員

## 1. 開会

## 2. あいさつ

竹内環境生活部長

## 3. 新任委員について

須川委員、橋本委員

## 4. 報告事項

以下の内容について、書面による報告。

- (1) NPO活動推進室の事業概要について
- (2)新型コロナウイルス感染症対応について

## 5. いきいき活動実践者等からの現状説明及び意見交換

### 【いきいき活動実践者、主な意見】

- 新型コロナウイルス禍での総会の開催を定住財団や県、専門家の支援を受け開催した。
- 元に戻るのではなく新しい働き方を模索していきたい。
- 福祉施設へボランティアに行っていた方は軒並み活動が停止。
- 7月の大雨による江津のボランティアセンターは現在市内在住者に限ってボランティアの受け入れを行っており、募集地域外から何ができるかアイデアを出さないといけないと考える。
- いきいき活動団体やNPOに災害時何ができるかアンケートを取り、リスト化しておく、県内で災害が起こったときに役に立つ。
- 新型コロナウイルスによる影響について、松江市内の市民団体やNPO法人への影響について実態調査をおこなった。
  - ・活動ができないことによる不安を抱えている。
  - ・事業への影響が出ていると答えたNPO法人は8割を超える。  
(利用者の減少、委託費や補助金の減額など)

- 大学生が運営する NPO 法人の活動も 3 月からの大学での活動自粛により新規勧誘ができない。
- 会議などのオンライン化は歓迎するが、それぞれのオンライン環境に左右される、情報が取れない大学生もいる。対策を県や自治体でお願いしたい。
- 外国からのツアーが全てキャンセル、ツアーの企画は立ててもどうなるか不安。  
屋外でのボランティアは三密を避けて実施している。  
田舎ツーリズム実践者の活動を動画で紹介することを計画。
- NPO 法人の総会はオンラインによる出席も可能。これからは合わせた形を考えて、そのための定款の変更等整備も必要になる。
- 大学生の経済状況に関するアンケートを実施。
  - ・ 仕送りやアルバイトによる収入が減っており生活費に強い不安を抱えている。
  - ・ 大学内で出来ることには限界があり、メッセージを発信していく必要を感じる。
- 津和野町畑迫地域では、まちづくり委員会と NPO 法人が連携して、年中行事の伝承や地元の野菜を使ったレストランの運営など活発な取り組みを実施。
- 新型コロナウイルスの影響は、製造業の状況が厳しい。
- 島根県行政書士会は地域貢献を行っている。
- 商工業者、特に飲食関係の中小業者は、新型コロナウイルスにより大きな影響を受けている。
- 役場にも、新型コロナウイルスの影響で、イベントが開催できないとか、収益が出ないといった相談が多く寄せられている。
- 3月の末に WEB アンケートを緊急に行い、その後の対応に活用した。  
新型コロナウイルス禍での対応について NPO 法人向け QA を県と作成し、ホームページに掲載。
- マスクや消毒液を NPO が安定的に手に入るよう斡旋できないか、非接触型体温計などの貸し出しができないか。

#### 4. その他

#### 5. 閉会